



医療と連携した指導・支援に取り組んでいます

本校では、年に4回程度、言語聴覚士(ST)、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)の先生をお招きし、校内を巡回して児童生徒の指導について助言をいただいたり、教職員向けに講義をしていただいたりしています。今回は、ST・OT・PTの先生による研修について紹介をします。

「摂食・嚥下支援のコツ」 ～ 言語聴覚士(ST)の先生による巡回指導・講義 ～

岡山大学病院総合リハビリテーション部から言語聴覚士(ST)の先生をお迎えし、講義を受けました。誤嚥と誤飲の違いや嚥下運動、摂食時の基本姿勢について、肢体不自由部門と知的障害部門の特徴を踏まえて説明していただきました。話すことや発声と食べる動作が関連し、嚥下機能の維持・改善に重要であることを改めて学びました。

また、給食場面で注目すべきポイントとして、児童生徒の視線や集中力、体力、姿勢、頭や身体の角度、食形態やとろみの調整、児童生徒の動きに合わせることを教えていただきました。今後の給食指導や摂食介助に生かしていきたいと思います。



「OT 研修」 ～ 作業療法士(OT)の先生による巡回指導・講義 ～

9月29日には旭川荘療育・医療センターの作業療法士(OT)の先生をお迎えし、児童・生徒の様子を観察していただいた後、教員向けに講義をしていただきました。ビデオで実際の様子を見ながら成長や発達、感覚の視点から子どもたちの実態を具体的に捉える方法を学びました。経験の幅が限られがちな子どもたちに対し、学校で多様な活動や物に触れて経験を広げることの重要性についてもご助言いただきました。今後の学習活動に生かしていきます。



「PT 研修」 ～ 理学療法士(PT)の先生による巡回指導・講義 ～

10月2日には岡山大学病院総合リハビリテーション部の理学療法士(PT)の先生をお迎えし、児童・生徒の活動を巡回指導していただきました。体の使い方に課題がある子どもたちの姿勢の見方や理学療法の専門的アプローチを指導いただき、実際に姿勢を体験したり、教員同士で実技を行ったりしました。学習の基盤となる姿勢や体の使い方の改善に役立てていきたいと思っています。

